

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.7)

豊田市PCB処理安全監視委員会が北九州施設で開催されました

10月19日(火)に、豊田市PCB処理安全監視委員会(委員長：藤江幸一豊橋技術科学大学教授はじめ19名)が、日本環境安全事業(JESCO)の北九州PCB廃棄物処理事業を視察しました。

北九州事業では、12月の操業開始に向けて試運転の最終段階を迎えており、処理対象物の受入から解体設備、無害化処理から払出までの工程、試運転の状況、情報公開や安全管理体制などの説明がありました。

その後、北九州事業所のプレゼンテーションルームにおいて、平成16年度第1回豊田市PCB処理安全監視委員会が開催され、豊田市のPCB処理計画について検討されました。

JESCOからは、豊田施設の建設工事の進捗状況と処理設備や安全設備について、北九州施設との共通点や相違点を含め、説明させていただきました。



北九州施設の見学



豊田市PCB処理監視委員会

真空超音波洗浄装置及び攪拌洗浄装置の工場検査立会

今回紹介するPCB廃棄物の洗浄設備は、高圧トランスや高圧コンデンサからPCBを含む油を抜き取った後の、機器本体が解体・分別された部材に付着するPCBを、溶剤で洗浄し取り除くための設備です。

豊田施設の洗浄工程は、(1)トランスやコンデンサのケース・ガイシ及びトランスの鉄芯等を洗浄する真空超音波洗浄ラインと、(2)コンデンサ内の素子(紙とアルミ箔が積層されたもの)等を洗浄する攪拌洗浄ラインの二つの工程に分かれています。

(1)真空超音波洗浄ラインの工場試運転は10月12～13日に山形県の製作工場で実施されました。

豊田施設では、この装置を2ライン設置します。この装置は各6槽の洗浄槽から構成されており、各槽では真空状態にして超音波洗浄します。第1槽で洗浄を終えたものは第2槽に送るという方式で、第5槽まで洗浄を繰り返す、最後の第6槽で洗浄液法(溶液に含まれるPCB濃度の測定)によりPCB汚染物でなくなったことを確認します。



攪拌洗浄装置



真空超音波洗浄装置

(2)攪拌洗浄装置は12基を設置します。この装置は各槽が単独で洗浄を行った後、更に真空加熱分離装置に送ります。この装置の原理は、洗濯機のように洗浄かごを回転させながら洗浄していきます。

この設備の試運転は、9月2日に大阪府堺市の製作工場で行われました。

工事の状況

4階に洗浄装置及び真空加熱装置を設置

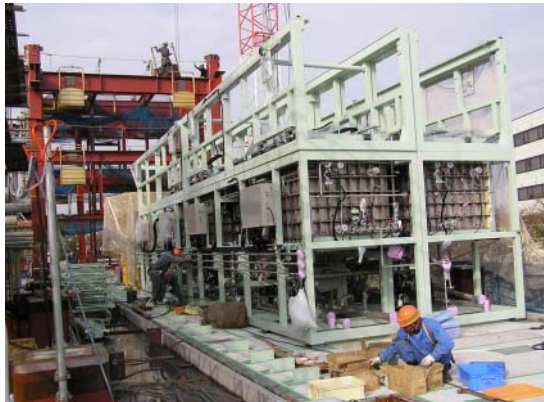


施設全景

4階までの鉄骨建方工事を完了し、床コンクリートを打設して、いよいよ4階の機器据付工事が始まりました。

10月18日に攪拌洗浄装置12基を据え付け、10月19日、23日の両日で真空加熱分離装置4基を据え付けました。また、10月29日には真空超音波洗浄装置を設置し、これと並行して10月28日からは4～5階の鉄骨を建て始めました。

11月上旬には、コンデンサ解体設備、給排気設備などの4階機器を順次据え付ける予定です。



真空超音波洗浄装置



4階機器の設置状況

今月の工事予定

- 11月初旬～ 処理エリア: 鉄骨建方(4～5階分)、3階床 鉄筋組立・コンクリート打設、機器据付
6階床デッキプレート設置・鉄筋組立
- 11月中旬～ 処理エリア: 鉄骨建方(4～5階分)、6階床デッキプレート設置・鉄筋組立・
コンクリート打設・外壁の取付開始

+ 施工者から一言

10月は、鉄骨工事(第1期分、1～3階)が完了し、施設の輪郭が姿を現しました。鉄骨工事完了後、4階床コンクリート上に前処理設備機器を据え付けました。10月下旬には鉄骨工事(第2期分、4～5階)に着手し、11月には6階床コンクリートを施工して液処理設備機器の据え付けが出来るよう進捗していきます。

内部では、プラント機器の配管・ダクト工事や遮蔽フードの取付けも開始しました。日々の労働者数も200人を超え、作業間の連絡調整が複雑になってきていますが、全ての作業員が安全に、かつ確実に作業できるようJV職員一同努力してまいります。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体

代表者 : 株式会社クボタ

構成員 : 株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)
(連絡先) 豊田事業所

0565-37-7226